

令和7年5月27日

大臣官房参事官(イノベーション)

第5回「宇宙を目指す建設革新会議」を開催します ～宇宙建設革新プロジェクトのキックオフ～

「宇宙開発利用加速化戦略プログラム」(スターダストプログラム)の一環の「宇宙無人建設革新技術開発」(国交省及び文科省連携)の第5回「宇宙を目指す建設革新会議」(略称：宇宙建設革新会議)を開催します。

近い将来の月面での建設活動を目指し、地上の建設技術の基盤技術の確立に向けた研究開発として、今年度の実施事業について、産学官の関係者が一堂に会し、個々の研究開発とともに事業全体の推進方策を審議します。

- 日 時： 令和7年6月2日(月) 16時～18時
 - 場 所： 機械振興会館 6階 6D-1～3会議室(東京都港区芝公園3-5-8)
 - 参加者： 別紙のとおり
 - 次 第： 12プロジェクトの報告及び意見交換、情報共有事項、関連話題提供 等
- ※会議は原則非公開ですが、報道関係者は冒頭挨拶まで会場で傍聴、カメラ撮りが可能です。
参加希望者は5月29日(木) 17時までに、以下の通りメールにて申し込みください。
- ・本文に、氏名(ふりがな)、社名、連絡先(電話・Mail)を記載してください。
 - ・送付先： hqt-unmanned_constr★ki.mlit.go.jp
※送信の際は「★」を「@」に置き換えてください。
 - ※取得した個人情報適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。
 - ・なお、参加希望者多数の場合、こちらで人数を調整させて頂く場合がございます。



【問合せ先】

大臣官房 参事官(イノベーション) グループ 施工企画室

施工自動化企画官 菊田、課長補佐 能登、係長 吉崎

代表：03-5253-8111(内線22403、22432、22433)、直通：03-5253-8285

◆宇宙建設革新会議 委員名簿 (敬称略 2025 年 5 月 27 日時点)

(学識者)

石上 玄也 慶應義塾大学 理工学部機械工学科 教授
 諸田 智克 東京大学大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻 准教授
 松尾 亜紀子 慶應義塾大学 理工学部機械工学科 教授

(研究者)

橋本 毅 土木研究所 技術推進本部 上席研究員
 田邊 宏太 宇宙航空研究開発機構 国際宇宙探査センター 宇宙探査システム技術ユニット ユニット長
 櫛木 賢一 宇宙航空研究開発機構 宇宙探査イノベーションハブ 副ハブ長

(行 政)

森下 博之 国土交通省 大臣官房 参事官 (イノベーション)
 原田 大地 文部科学省 研究開発局 研究開発戦略官 (宇宙利用・国際宇宙探査担当)
 伊藤 麻純 内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 参事官補佐

◆令和 7 年度 宇宙無人建設革新技術開発 研究開発実施者

研究開発実施者 (○代表者、共同実施者)	技術研究開発名称
○鹿島建設 宇宙航空研究開発機構、芝浦工業大学	建設環境に適応する自律遠隔施工技術の開発－ 一次世代施工システムの宇宙適用
○清水建設 ボッシュエンジニアリング	自律施工のための環境認識基盤システムの開発 及び自律施工の実証
○大成建設 パナソニックアドバンステクノロジー	月面適応のための SLAM 自動運転技術の開発
○有人宇宙システム	トータル月面建設システムのモデル構築
○小松製作所	デジタルツイン技術を活用した、月面環境に適 応する建設機械実現のための研究開発
○立命館大学 芝浦工業大学、東京大学大学院、横浜国立大学、港 湾空港技術研究所、アジア航測、基礎地盤コンサル タンツ、ソイルアンドロックエンジニアリング	月面の 3 次元地質地盤図を作成するための測 量・地盤調査法
○熊谷組 住友林業、光洋機械産業、加藤製作所、工学院大学	索道技術を利用した災害対応運搬技術の開発
○技研製作所	回転切削圧入の施工データを利用した、月面建 設の合理的な設計施工プロセスの提案と評価
○大林組 名古屋工業大学、レーザー技術総合研究所	月資源を用いた拠点基地建設材料の製造と施工 方法の技術開発
○清水建設 太陽工業、東京理科大学	月面インフレーターブル居住モジュールの地上実 証モデル構築
○大林組 宇宙航空研究開発機構、サカセ・アドテック	月面における展開構造物の要件定義及び無人設 営検討の技術開発
○東京大学 九州大学、竹中工務店、宇宙航空研究開発機構	月の極域および縦孔での滞在開始用ベースキャン プの最小形態と展開着床機構の開発

(参考) 各技術研究開発の概要 (<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001885919.pdf>)